



## 蒲原鉄道で活躍した電気機関車「ED1」

修復も完了し「モハ61」「モハ1」とともに冬鳥越スキーガーデンで展示

主な内容	■ 小池清彦市長の市政報告	27
	・加茂病院の充実について	24
	・加茂病院の安泰とさらなる充実並びに救命救急センターの併設について	57
	■ 第42回市展	810
	■ 第6回 加茂菊花展	11
	■ 秋の叙勲	1213
	■ 人権擁護委員の活動	13
	■ 加茂の風土記	16

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

# 市政報告 その一

加茂市長 小池清彦

## 加茂病院の充実について

加茂病院の医師の数が実質二人 増やされました。

す。

また、閉鎖されていた二階の病棟が再開されました。

市民の皆様！ 優れた医師、技師、療法士、看護師がそろつてい る加茂病院を大切にして、大いに 利用し、支援しましょう！

泉田知事さんの御尽力と江口病院局長をはじめとする方々の御努力に感謝申し上げます。

知事さんと県当局は、加茂市長との約束を果たすため、今後とも 精一杯の努力を続けると言つておられますので、さらなる御尽力を 期待しながら見守りたいと思いま す。

県立加茂病院には、平成十年当時十七人の医師がおられましたが、十年後の平成二十年には、五人に減らされてしまつておりました。県立病院の中で、最も医師の数を減らされたのが加茂病院でした。

この事実を発見して、私は泉田知事さ

んに強く善処を要望いたしました。

その結果、知事さんは、平成二十年七月十八日付の江口病院局長から私にあてた文書で、次のことを約束されました。

一・平成二十一年度初めまでに、加茂病院の医師を現在の五人から十人に増やすことを目標とする。

二・平成二十一年度初めまでに、加茂病

院の医師を十三人に増やすことを目標とする。

三・その後は、加茂病院の医師を十七人に増やすことを目標とする。

四・現在休止中の病床を平成二十一年度初めまでに再開する。

五・産婦人科、小児科、脳神経外科、眼科、泌尿器科および耳鼻咽喉科に、常勤医師を配置するよう最大限の努力をする。

医師の確保が極めて困難な中で、県では、懸命に努力され、平成二十一年十月初めまでに、次のことを実行されました。

一・常勤医師を一名増員しました。

以上のように、県当局は、精一杯の努力をされたと考えております。

千葉県我孫子市で病院に勤務しておられた立派な先生をお招きしたものです。

泉田知事さんと江口病院局長以下の方々の御尽力に感謝申し上げます。

二・非常勤の医師五名程度を増員しました。

知事さんと県当局は、約束の実現に向けて、さらに精一杯の努力を続けたいと言つておられますので、大いに期待しながら、見守りたいと思います。

三・閉鎖されていた二階病棟を再開しました。

他の病院へ転勤になつていた看護師の方々も、呼び戻されました。

このようなことは、容易に起こりえないことです。

# 市政報告 その二

加茂市長 小池清彦

加茂病院の安泰とさらなる充実  
並びに救命救急センターの併設  
について

「県立でいきます。」と約束されました。そして、そのことをペーパーにして、新聞社、テレビ局に配付されました。

かくして、加茂病院は安泰となりました。

- 一 先に広報かも平成二十年九月二号で申しましたとおり、泉田知事さんは、平成二十年九月三日、私に対し、「加茂病院は、廃止も縮小も、民営化もしません。
- 二 そして、先に申し上げましたとおり、県当局は、閉鎖されていた加茂病院の一階の病棟を再開し、医師の数を増やすことに努力しておられます。

三、今後の課題は、加茂市が下条の圃場整備で受け取ることになつてゐる二町歩の土地（圃場整備の組合の方々の御協力により四町二反まで確保してあります。）に老朽化してきている加茂病院を移転改築し、救命救急センターを併設することであります。

この土地は、三条市との境界の近くにあり、建設中の国道四〇三号バイパスに隣接し、県央のほとんどの地域から三十分以内に到達することができます。

現在、県央における病院のベッド数の合計は、厚生労働省の基準による数とほとんど同じでするので、新規に基幹病院をつくるベッド数の余裕はありません。また、既存の病院を廃止してベッド数の余裕をつくり出すことも不可能です。従つて、これから建設する救命救急センターは、既存の病院のどれかに併設するしか方法はありません。

一方、救命救急センターは、県が設置し、運営いたしますので、県立病院に併設するのが最も効果的であり、効率的であることは明白です。

ところが県央にある県立病院は、加茂病院と吉田病院の二つです。このうち、どちらが、地の利のある場所にあ

るのかを考えますと、客観的に見て、加茂病院が有利なように思われます。さらに、土地は加茂市が無償で提供しますので、県の出費は、格段に少なくて済むはずであります。

現在、県央の救命救急センターの建設についての検討は、知事、神保副知事、各市町村長から成る「検討会議」を頂点として、その下部組織である知事、神保副知事、各市町村長、各医師会長、各救急病院長から成る「合同会議」で検討を進めています。

もちろん私は、公平かつ客観的な立場に立つて検討に加わっていますが、下条の三条市との境に隣接した国道四〇三号バイパス沿いの土地に加茂病院

を移転改築して、救命救急センターを併設するという案が極めて有力な案の一つであることは間違いないありません。



**洋画** 「ペンキカン」  
田代カチノさん

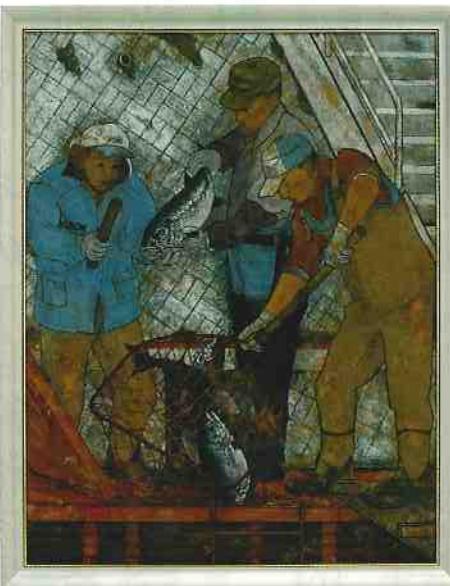


**彫刻** 「羽化」  
中澤恵子さん

**書道**

「文徵明詩」  
下田彩水さん

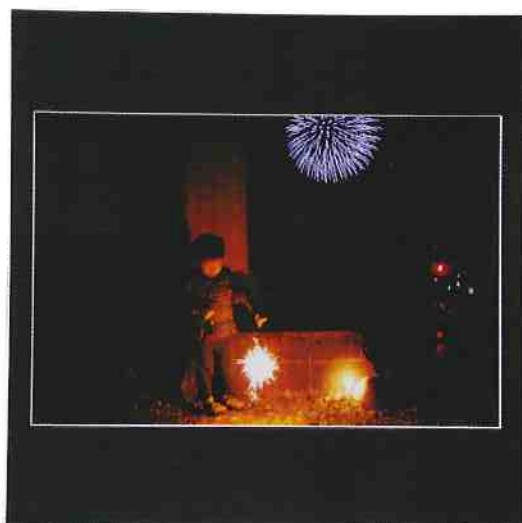
第42回 **市展**  
市展賞受賞作品紙上紹介

**日本画**

「晩秋の加茂川」  
大矢義夫さん

**工芸**

「盛夏」  
鈴木イツ乃さん

**写真**

「はなび」  
草野智文さん

第四十二回市展の各部門で市展賞を受賞された皆さんから、受賞された感想や作品についてのコメントをいただきましたのでご紹介します。

## 日本画 「晚秋の加茂川」

大矢義夫さん(青海町二)

このたびは、市展賞を頂き、身にあまる光栄に感謝申し上げます。小京都加茂市の身の回りの風景を眼に注ぎ、加茂川の秋の風物詩である鮭の築漁を描かせていただきました。

鮭の養殖事業と環境保全のため、自然と対峙して取り組んでおられる姿に感動を覚え、筆を進めました。鮭の捕獲作業の情景描写を評価いただきました。

今回、この様な立派な賞を頂けたのは、ひとえに先生方をはじめ、多くの方々のお力によるものと、心より感謝申し上げます。

これからも、自然から基本を学び、広い視野のもとで感性を磨き、楽しみながら制作を続けられたらと考えます。

ありがとうございました。

## 洋画 「ベンキカン」

田代カチノさん(神明町二)

秋深く、やがて来る冬の支度で忙しい毎日を過ごしておりました。

突然電話のベルが鳴り、「年一回の市展に、私の絵が市展賞に選ばれました」と加茂市教育委員会からのお知らせを受け取り、驚きで信じられませんでした。

何度も塗りを重ねて、毎日少しずつの時間をかけ、捨てられた材木一本一本カラフルにベンキカンの中の色で、きれいに仕上げたいと思って、一生懸命筆を動かしました。

このよう大きな賞を頂き、市長様始め教育委員また評価してくださいさつた先生方に感謝申し上げ、ごあいさつにさせていただきます。大変ありがとうございました。

まだまだ未熟な私であります、この賞を励みとして、新たな作品を作つていこうと思います。ありがとうございました。

## 彫刻 「羽化」

中澤恵子さん(八幡二)

このたびは、榮えある賞を頂戴し、感謝申し上げます。

作品「羽化」は、塊の持つ内面の力を作つてみたく制作いたしました。

高橋國一先生の御指導を始め、月遊会の皆様が力を貸してくださいり、また家族の協力もあって完成したものです。

五年程前、彫塑の作り方を知りたくて初心者教室に入りました。はじめに粘土で模型を作り、次に石膏で型を取ります。そしてまた、その中に石膏を流し込み、固まつたら外型を割り取り出します。石膏取りでは重さに閉口し、体中石膏まみれになりながらも、全てが楽しいのは月遊会のメンバーが常に笑顔だからです。

- 日本画「画室の友」高橋國一（高須町1）
- 洋画「語らう」金井ユキエ（都ヶ丘）
- 彫刻「先へのフォルム」長谷川優子（岡ノ町）
- 工芸「晩秋の彼方」永井光雄（柳町）
- 書道「五言律詩」大桃伊志（大郷町2）
- 写真「天空の音符」岩下義栄（赤谷）



## 工芸 「盛夏」

鈴木イツ乃さん(田上町)



このたびは、市展賞を頂くことができまして、嬉しく、ありがとうございました。真保先生からの温かく優しいご指導を、いただきまして革染・紅の会は何時も笑顔の中で励まし合って作品を作つて楽しんでおります。

私の好きな「ひまわり」の花を作品にいたしました。

いつも皆の方を向いて、微笑んでくれる「ひまわり」が、私は大好きです。

真保先生、紅の会の皆さん、ほんとうにありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

## 書道 「文徵明詩」

下田彩水さん(幸町)

この度は市展賞をいただき、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。毎年、諸先生方の素晴らしい作品や審査の講評が、とても勉強になつていきました。

また、家族の協力と理解、祖母や父の指導のおかげだと思っていきます。心から感謝しています。

今回受賞しました書は、好きなアーティストの音楽を聞きながら書きました。無音無心で書く書もありますが、リズム感や流れを出します。心から感謝しています。

アーティストの音楽を聞きながら書きました。無音無心で書く書もありますが、リズム感や流れを出します。心から感謝しています。

アーティストの音楽を聞きながら書きました。無音無心で書く書もありますが、リズム感や流れを出します。心から感謝しています。

## 写真 「はなび」

草野智文さん(寿町)

市展賞をいただき大変光栄に思います。公民館の初心者デジタル一眼レフカメラ教室から今年立ち上がつたばかりの加茂デジカメクラブに参加していますが、写真を

始めてから日が浅いこともあり、受賞の連絡をいただいたときは信じられない思いで、何度も聞き直してしまいました。

作品は、青海神社の花火の日に次男を撮つたものです。雰囲気がおもしろいとは思いましたが、ブレなどもあるので、最後まで出品を迷いました。クラブで先生から

「雰囲気で見せる作品だから、それは気にする必要はない」とご指導いただいたことを頼りに出品しました。

このたびの受賞は、クラブの皆さん、先生の厳しくもあたたかいご指導のおかげと感謝しています。

これからも、クラブの皆さんと切磋琢磨しながら、写真撮影を楽しみたいと思います。

## 奨励賞・振興賞の皆さん

奨励賞：日本画 「休耕田の花」番場仁(横江)、「本成寺山門」高野廣(上条)

洋画 「再生」滝沢良子(学校町)、「静物」山際正夫(小橋)、「闘牛図A」桑原茂(幸町)

彫刻 「碧」渡邊尚子(三条市) 工芸 「萌す」本間淳(上町)、「誘ない(いざない)」馬場桂子(岡ノ町)、「悠々と」永井和子(天神林) 書道 「古詩」藤井澄山(新潟市南区)、

「新古今集」志田景彩(五泉市)、「五言律詩」鈴木恵美(早田)、「千載和歌集より」稻垣映華(田上町)、「五言古詩」石附和子(仲町) 写真 「僕らの夏休み」樋口八重子(五番町)、「連写」斎藤健一(都ヶ丘)、「冬を生き抜く」泉田忠穂(小橋)、「春の踊子」三浦二郎(五番町)

振興賞：洋画 「17時50分」栗山亜美(加茂高) 書道 「獨歩」半間麻央(三条高)、

「臨 祭姪稿」坂井昌未(加茂暁星高)

## 第6回加茂菊花展

### 8部門170点を展示

今年は、夏の日照不足や低気温などの影響で、花を育てるのに苦労の多い年だったとのことです。

それでも、丹精こめて育てられた菊が十一月六日から二十三日まで、百七十点集まり、会場の冬鳥越

スキーガーデンを飾っていただきました。また、八部門の入賞作品

から総合賞として三点が選ばれ、それぞれ市長賞、二等賞、三等賞が贈られました。

総合賞および各部門ごとに入賞された皆さんは次のとおりです。  
(敬称略)



市長賞の「輝」(懸崖・小野福四郎さん)



二等賞の「国華金山」(写真右側・七幹立・若穂団喜汐さん)と三等賞の「下谷詩人」(写真中央・中菊・齊藤実さん)



木付けの作品



会場を飾る170点の作品



スキーガーデン駐車場に面して展示された作品

#### 【総合賞】

市長賞【懸崖・輝】小野福四郎(中

鵜森) 二等賞「七幹立・国華金山」

若穂団喜汐(三条市) 三等賞「中

菊・下谷詩人」齊藤稔(三条市)

#### 出品各部門

【管物三幹】優秀賞 田中省一(三

条市)・一位 石倉広茂(新潟市)・

二位 牛田豊作(田上町)・三位

落合久治(三条市) 【厚物三幹】

優秀賞 梅田嘉徳(三条市)・一

三位 酒井栄策「だるま・福助・

切花】優秀賞 大竹与市・一位

大竹与市・二位 大竹与市・三位

石倉広茂【木付け】優秀賞 清水

清松(上下条)・一位 清水修(上

下条)・二位 湧井秀一(上下

条)・三位 安中栄五郎(上下条)

市) 【七幹立】優秀賞 若穂団喜  
汐・一位 牛田勝・二位 大竹与

市(新潟市)・三位 山田勘解由  
(三条市)・田中省一【盆栽】優

秀賞 酒井正博(新潟市)・一位  
(三条市)・田中省一【盆栽】優

秀賞 酒井正博(新潟市)・一位  
(長岡市)・二位 酒

井正博・三位 松澤ヨシイ【中菊】  
優秀賞 齊藤稔・一位 大竹与

市・二位 酒井栄策(三条市)・  
三位 酒井栄策「だるま・福助・

切花】優秀賞 大竹与市・一位

大竹与市・二位 大竹与市・三位

石倉広茂【木付け】優秀賞 清水

清松(上下条)・一位 清水修(上

下条)・二位 湧井秀一(上下

条)・三位 安中栄五郎(上下条)

# 秋の叙勲

国や公共のために尽くした功績が認められ、秋の叙勲において加茂市から三名の方が受章の栄誉に輝きました。その喜びの声をうかがいました。

## 旭日双光章

(地方自治功労)



小林 勇さん  
(八幡二・71歳)

委員などの要職を歴任しました。

初的一般質問の登壇では「社会

党の小林ですが、私は河川改修問題、あるいは内職、下請など家内労働者と中小零細企業労働者の生活確保の問題、さらに市長の政治姿勢について問う」として、当時の皆川市長とのやり取りが昭和五十四年加茂市議会六月定例会会議録に見ることができます。

「叙勲なんて、全く夢にも思っていないことで本当にびっくりしました。身に余る光榮で、ありがたい」と、受章にあたり驚きを隠しません。

小林さんは、加茂地区労の常任幹事・事務局長・副議長を務め、昭和五十四年五月から平成十一年四月まで連続五期二十年にわたって加茂市議会議員を務めました。

この間、建設企業常任委員長、地域振興特別委員長、議会選出監査

オーケンングで鍛え「年に五、六回以上、近隣や三千メートル級の登山にも挑戦している」ということです。

## 瑞宝双光章

(消防功労)



坂上 康郎さん  
(黒水北・67歳)

ました。現在は、知人の誘いもあって朝夕の各五キロメートルのウォーキングで鍛え「年に五、六回以上、近隣や三千メートル級の登山にも挑戦している」ということです。

長い消防生活の中でも一番の苦勞は「自宅にも一・三メートル浸水しながら家族や親戚に片付けを任し、孤立した宮寄上の状況調査に自衛隊を夜通し徒步で案内した。消防署で寝泊まりして水害で流れられた一家の捜索にも当たったが、見つからなかつた。自宅が被災した中の仕事も自分が選んだ職業で仕方がなかつた」と、苦しかつた昭和四十四年の加茂川水害を振り返ります。

また、印象に残る仕事に「緊急指令施設の整備に伴う目標物のデータ入力」を挙げ、現施設の基礎を築きました。

坂上さんは、昭和三十八年十月の消防本部・署発足後の翌年一月に加茂市消防士を拝命以来、平成十五年に加茂市・田上町消防衛生組合消防監・消防長を最後に退職するまで三十九年余にわたり勤務いたしました。

社会のために、自己を犠牲にして危険な業務に精励した危険業務従事者に贈られる叙勲の受章にあたつて「大変光榮に思う。これも先輩、同僚の皆さんと家族のおか

げと感謝しています」と、感想を語ります。

長い消防生活の中でも一番の苦勞は「自宅にも一・三メートル浸水しながら家族や親戚に片付けを任し、孤立した宮寄上の状況調査に自衛隊を夜通し徒步で案内した。消防署で寝泊まりして水害で流れられた一家の捜索にも当たつたが、見つからなかつた。自宅が被災した中の仕事も自分が選んだ職業で仕方がなかつた」と、苦しかつた昭和四十四年の加茂川水害を振り返ります。

また、印象に残る仕事に「緊急指令施設の整備に伴う目標物のデータ入力」を挙げ、現施設の基礎を築きました。

退職後は、高柳郷農村基盤整備事業推進協議会の事務局長や七谷保育園の理事を務めています。また、今年五月からは「地元のお役に立つなら」と七谷コミュニティセンターに勤務の傍ら、七谷民謡研究会に所属し「自分の将来を見るようだが元気ももらう」と病院や特養ホームへの慰問のボランティア活動や、空いた時間にはゲートボールを楽しんでいます。

## 瑞宝单光章

(警察功勞)



中村 博  
(幸町一・79歳)

さかつた両津での駐在所生活四年間は、地域と一体となり思い出深い。津川では、水害対策や飯豊山に泊り込んで捜索したこと」と振り返ります。本部外勤課では、原発関係の防災対策も担当し、今県庁警察庁舎通信指令室のレイアウトを手がけました。

受章の感想について「優秀な先輩方が多くいるのに、ただ長く勤めただけで、周りの皆さんのおかげ。特に外勤の仕事は、住民の皆さん方の協力が不可欠でした」と感謝します。

柏崎市出身の中村さんは、昭和二十六年十一月に警察官として採用され、警察学校を卒業して初めて勤務したのが加茂署でした。

まち中心部にあつた加茂町時代の木造庁舎で警察官としての基本を学び、外勤係として十一年余り勤務した後、両津、津川、見附の各署と本部外勤課通信指令室を回り、小千谷、燕、三条の各署で通算三十六年の警察官人生を送りました。

思い出の地として、最初の赴任地である加茂のほか「子どもの小

い。津川では、水害対策や飯豊山に泊り込んで捜索したこと」と振り返ります。本部外勤課では、原発関係の防災対策も担当し、今県庁警察庁舎通信指令室のレイアウトを手がけました。

受章の感想について「優秀な先輩方が多くいるのに、ただ長く勤めただけで、周りの皆さんのおかげ。特に外勤の仕事は、住民の皆さん方の協力が不可欠でした」と感謝します。

柏崎市出身の中村さんは、昭和二十六年十一月に警察官として採用され、警察学校を卒業して初めて勤務したのが加茂署でした。

まち中心部にあつた加茂町時代の木造庁舎で警察官としての基本を学び、外勤係として十一年余り勤務した後、両津、津川、見附の各署と本部外勤課通信指令室を回り、小千谷、燕、三条の各署で通算三十六年の警察官人生を送りました。

## 人権擁護委員の活動

加茂市には法務大臣から委嘱を受けた五名の人権擁護委員がいます。嫌がらせやいじめ、差別等の人権侵害を無くす為、市や法務局との連携を取りながら特設人権相談所や自宅でも人権に関する悩み事の相談に応じています。

また、「中学生人権作文」コンテスト、小学生に花の苗を配布するなど、人権に関する啓発活動を行っています。

紙芝居部会の出前講座につきまして、ご希望の保育園・幼稚園がございましたら左記の人権擁護委員までご連絡ください。

紙芝居部会の出前講座につきまして、ご希望の保育園・幼稚園がございましたら左記の人権擁護委員までご連絡ください。

▼西村國一さん(千刈2-1-5)  
TEL 52-0342

▼廣野豊作さん(若宮町1-14-1)  
TEL 52-1382

▼小池俊木さん(本町1-1-5)  
TEL 52-2321

▼山川裕士さん(若宮町1-1-5-1)  
TEL 52-0026

▼太田由紀子さん(栄町10-1-7)  
TEL 53-2254



る「人権の花運動」等を通じて地域での人権啓発活動を行っています。

その一環として、十一月十一日に人権擁護委員と三条人権擁護委員協議会紙芝居部会の方々がマスコット「人権あゆみちゃん」を伴つて葵幼稚園を訪問し、優しい心、思いやりの心の大切さを問いかける紙芝居を披露し、園児からの歓迎を受けました。

紙芝居部会の出前講座につきまして、ご希望の保育園・幼稚園がございましたら左記の人権擁護委員までご連絡ください。

# 総体の結果



## サッカー

期日 九月十二・二十一日  
会場 加茂市サッカーフィールド

【高校・一般の部】①FOX Y②下田

F C③アヒルレックス  
Z S・C③アトレチコ加茂 F C



## 登山

期日 九月十三日  
会場 苗場山(津南町・長野県境)

標高二一四五m  
※登山には一般参加者と登山指導者など三十六人が参加しました。



## 剣道

期日 十月十一日  
会場 下条体育センター

【個人戦】▼小学校三・四年生の部①高橋聰希(下条小)②時田遼馬(下条小)③港敦史(加茂小)▼中学校の部①六年生の部①難波聖也(石川小)②諸橋俊貴(下条小)③渡部香菜(石川小)③塩原和真(石川小)▼中学校の部①大湊和希(新潟第一中)②小野塚史哉(スポーツ少)③高橋駿平(葵中)▼高校・



## グラウンドゴルフ

期日 十月十二日  
会場 リバーサイド加茂グラウンドゴルフコース

【個人の部】▼一般男子の部①山崎次男(岡ノ町GGC-A)②小池正友(新町B)③丸山勲夫(赤谷GGクラブB)  
▼一般女子の部①長谷川タヅ(岡ノ町GGC-C)②保倉セツ(親和会GGC-B)③Bチーム③坂上恵子(陣ヶ峰B)①A③陣ヶ峰A



## グラウンドゴルフ

期日 十月十二日  
会場 庭球場(駒岡)  
【団体戦】▼小学校三・四年生の部①下条剣士会A②下条剣士会B③加茂剣士会▼高校・一般の部①加茂高校B②加茂剣道会B③加茂剣道会D



## ソフトテニス

期日 十一月一日  
会場 庭球場(駒岡)

【中学生女子の部】①坂田恵・渡辺唯(加茂スポ少)②岡琴李・前山愛(同)③滝沢有梨・泉田莉奈(同)③真木田優衣・渡辺朱音(同)

【中学生女子の部】①星野由衣・佐藤明穂(葵中)②牛脇なつみ・福島美月(同)③斎藤朱夏・富樫萌(同)③松下可奈・坂田稚佳(同)

【一般女子の部】①前山知香・佐藤千秋(協会)②丸山千尋・星野彩衣(同)③桑原麻美・高橋麻実(同)



## ゲートボール

期日 十一月一日  
会場 すばーく加茂

①天神林②ひまわり③ゆきつばき



## 柔道

期日 十一月一日  
会場 下条体育センター

【個人戦】▼小学生三年生の部①三村鴻太(加茂小)②横山拓巳(加茂小)③有本みのり(加茂小)▼小学生四年生軽量級の部①横山哲太(加茂小)②有本友也(加茂小)③岡雄大(加茂西

小)▼小学生四年生重量級の部①小林慎之介(加茂小)②中林成希(加茂小)③新井恒稀(加茂小)▼小学生六年生の部①伊丹英和(加茂西小)②大橋将広(加茂南小)③捧祥太(加茂西小)

▼高校一般の部①高山誠太(加茂柔道会)②白井直之(加茂柔道会)③白井和哉(加茂農林高)

【団体戦】▼小学生三・四年生の部①柔道スポーツ少年団D②柔道スポーツ少年団C③柔道スポーツ少年団A▼小學生五・六年生の部①柔道スポーツ少年団A



## 駅伝競走

期日 十一月三日  
会場 陸上競技場周辺周回コース

【三区間七・五kmコース】▼中学生女子の部①葵中学校A 27分29秒②葵中学校C③葵中学校B

【五区間十二・五kmコース】▼小学生男子の部①加茂ドッジファイターズ46分48秒②下条オールスター③加茂Jr陸上イケメン選抜▼小学生女子の部①加茂小6年女子チーム50分54秒②加茂Jr陸上ビューティー③加茂Jr陸上キュー

ト▼中学生男子の部①若宮中学校38分50秒②葵中学校A③葵中学校B▼高校・一般男子の部①痛くなんかないもん40分58秒②FRCヤング③若中O

## バスケットボール



期日 十一月八日

会場 市民体育館・加茂中体育館

【中学生男子の部】①若宮中学校3年  
②葵中学校2年③葵中学校3年

【高校一般男子の部】①Air Time  
②Loops ③俺達③稻作連合

## 空手道



期日 十一月八日

会場 下条体育センター

※選手の所属はスポーツ少年団です。

【形】▼小学生無級者男女混合①山岸

実加②小林拓海③山際友也▼小学生低

学年男子①渡部翔矢②田中颯③吉田海

児▼小学生低学年女子①堀内静波②渡

部幸③船久保穂香▼小学生高学年男子

①山川大智②弥久保竜治③外石裕太郎

▼小学生高学年女子①船久保遙②土田

伊織③五十嵐美紀▼中学生男子①田中

悠斗②本間勇輝③番場誠人▼中学生女

子①石附雪菜②田中紅里③樋口夏季

【組手】▼小学生低学年男子①牛腸慎

也②井上慎太郎③吉田海児▼小学生低

学年女子①船久保穂香②渡部幸③堀内

静波▼小学生高学年男子①山川大智②

外石裕太郎③宮口拓▼小学生高学年女

子①船久保遙②五十嵐美紀③斎藤怜南  
▼中学生男子①田中悠斗②番場誠人③

本間勇輝▼中学生女子①石附雪菜②田

## 体操競技



期日 十一月十四・十五日

会場 体操トレーニングセンター

【個人総合】▼小学生男子(タンブリ

ング・円馬とび箱・鉄棒・柔軟)①北見

将一(加茂南小)②小柳晴矢(須田小)

③伊藤駿(加茂体操ク)▼小学生女子

(とび箱・単バーパー台・タングリング・

柔軟)①三沢司沙(七谷小)②茂野天

泉(加茂少)③海津雪乃(加茂南小)

▼中学生以上男子(ゆか・あん馬・つり

輪・跳馬・平行棒・鉄棒・柔軟)①有本隆

寛(葵中)②川口正太郎(長岡高)③

高野雄貴(加茂高)▼中学生以上女子

(跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか・柔

軟)①渡辺由貴那(加茂少)②摔莉穂

(加茂体操ク)③熊倉未来(加茂少)

【特別種目】▼かべ倒立男子①伊藤駿

②小柳晴矢③難波幸太(加茂少)▼同

女子①阿部栞(石川小)②桑原菜鳴子

(石川小)③小出香織(石川小)▼倒立

## バドミントン



期日 十一月十五日

会場 勤労者体育センター

【シングルス】▼小学男子①蝶名林雄

太(加茂南小)②坪谷朋紀(加茂西小)

③川崎悠矢(加茂西小)▼小学女子①

丸山悠佳(加茂少)②鈴木千佳(加茂

小)③港由布子(石川小)③泉田紋里

(加茂南小)▼高校一般男子A①斎藤

守(勤少)②石田学(勤少)③茂野俊

輔(勤少)③小原敬弘(勤少)▼同B

①石田和祥(加茂農林高)②若井悟司

(勤少)③清水一宏(AOI)③大久

保和司(勤少)▼同C①阿部光雄(青

海)②小林照雄(青海)③佐藤暎(加

茂農林高)③有本諒(加茂暁星高)▼

高校一般女子A①本間直美(勤少)②

小林柚里加(少年団)▼同B①関川緑

(青海)②関川淳子(青海)③佐々木

智子(AOI)③松井千晃(加茂暁星

高)▼同C①田下仁香子(少年団)②

保坂采里美(少年団)③志田かおる(加

茂高)③森田真穂(少年団)  
【ダブルス】▼小学女子①丸山悠佳(加茂中)②平田澪礼(加茂中)③小林遼太(須田中)③高山大(若宮中)  
▼中学女子①菅家千幸(若宮中)②和田佳奈恵(若宮中)▼高校一般男子①松沢和彦(加茂信金)②番場正人(加茂卓球ク)③長沢真(加茂卓球ク)③泉田徹(三条機械)  
【団体】▼中学男子①七谷中学校A②若宮中学校A③加茂中学校A③七谷中学校B▼高校一般男子①加茂卓球クラブ②加茂卓球会A

中紅里③桶口夏季

# 中世埋蔵錢の物語

## —民俗資料館考古展示室から(2)—

### 加茂の風土記

この壺の中に納められた古銭は約一万三千枚あまり。故八百枝茂

発掘調査現場では、作業員さんとの会話の中で「昔の小判（お金）でも出ないかな」とのぼやきが聞こえてくる。日常見慣れぬ土器や石器に価値を見出せず、現世につながるお金の出土を期待するのである。実際、加茂市内のあちこちで古銭は出土しており、民俗資料館には、岡ノ町出土（「加茂の古銭出土地」と呼ばれる）の古銭と壺が展示されている。一体どのような物語を秘めているのか。



岡ノ町出土古銭 展示品

まず、多量の銭が納められた容器へラで「人」と刻まれている。器形などから十四世紀前半頃のものと考えられる。珠洲焼はこの時期の越後では主体となる焼き物である。

氏などにより、分類・整理されてい る。日本で作られた古銭はなく、大半が中国からの渡来銭である。一番 古い古銭は後漢の初鋳年二四年の五 銀銭である。一番多く見られる古銭 は北宋の初鋳年一〇三八年の皇宋通 寶で千枚近くある。北宋の古銭が多いことは全国的な動向と一致する。

一番新しい古銭は元の初鋳年一三一〇年の至大通寶である。この最新銭の年代及び珠洲焼の年代から十四世紀前半以降に埋められたことが推測

される。

加茂市には他に資料が伝わる埋蔵 錢として、「岩野の古銭出土地」が ある。近隣では田上町「山田の古銭 出土地」が知られる。いずれも人里 離れた山中に埋められており、岡ノ 町の出土古銭とは埋められた背景や 環境が異なる可能性がある。

誰が、何の目的で埋めたのか。明 確な答えはない。「誰が」の問い合わせは歴史地理的な調査が必要であり、特定は難しいが、蓄蔵できた階層として有力者の存在が考えられる。目 的については、諸説あるが、当時が 戦乱の世であることから、戦火を避け隠匿するためや財産の保全などの 経済的価値を重視した備蓄説と神社 への奉賽銭や家の建て前などの投げ 錢などから知られる祭祀的・呪術的 側面からの埋納説がある。どちらにしても個々の事例に即した多方面か らのアプローチが必要となる。

出土した古銭をクリーニングし、 錢名が解説できた時は、素直に嬉しく、感動する。その時ばかりは、考古学の学問範疇を超えて、古銭マニア の見方が頭をもたげてしまう。展示 室では自由な目線でじっくり観察して欲しい。

（伊藤秀和）

### 人口のうごき

11月1日現在	
世帯	10,114 (-5)
人口	31,045 (-36)
男	15,006 (-23)
女	16,039 (-13)
( ) 内は前月比	
(10月異動分)	
出生	14 (男7女7)
死亡	33 (男19女14)
転出	48
転入	31

第三平成園へ  
▼加茂信用金庫から  
ス八台

加茂市へ  
▼関川 堅さんから 加茂市大字  
鶴森地内の土地 (二七六〇m<sup>2</sup>) ·  
建物 (二棟)  
▼東北電力株式会社 (新潟県央管  
業所) から 街路灯三十灯

ふるさと寄附金  
▼笠原順一さん (東京都江東区)  
から 二十五万円  
▼七谷中学校生徒会から 一万二  
千三百六十五円  
▼加茂市民ゴルフ大会実行委員会  
から 十六万百十円

社会福祉費寄附金  
▼加茂市民ゴルフ大会実行委員会  
から 二十六万百十円